

## 小4 国語 出題のねらいと対策

### 1 漢字の読み書き 70.6%

ねらい：漢字の読み書きが正しくできるかを問う。

分析と対策：「治める」は、「修める」「納める」「収める」との使い分けも、あわせて確認しておきましょう。

### 2 音読み・訓読み 37.5%

ねらい：漢字の音読み・訓読みについての知識を問う。

分析と対策：漢字には、音と訓の二つの読み方があるということをしっかりと頭に入れましょう。新出漢字については、音読み・訓読みを意識して覚えるということを心がけるようにすると、読みについての知識がつきやすくなります。また、「風車」のように、読み方によって表すものが変わることもあるので注意が必要です。

### 3 送りがな 86.2%

ねらい：漢字の正しい送りがなについての知識を問う。

分析と対策：新しい漢字を学習するときには、その読み方・書き方ばかりでなく、どのような送りがなが付くのかについてもしっかり身に付けるようにしましょう。出題されているもののほか、「新しい」「表す」など、まちがしやすいものをまとめておくとよいでしょう。また、「行(い)く」と「行(おこな)う」などのように、送りがなによって読み方が変わる漢字にも注意してください。

### 4 物語の読みとり 61.9%

ねらい：登場人物の気持ちや、置かれている状況をとらえる力を問う。

分析と対策：本文は、小学四年生の主人公・美穂が、遠足の帰り道に母から祖母の死を告げられ、動揺する場面をえがいたものです。美穂が、母のおかしい様子を見て、何かあったのだろうかと不安をいだく 祖母の死を知らされ、衝撃を受ける 九月からずっと、祖母の具合が悪かったことを思い出す 祖母の不在を目の当たりにし、やっと祖母の死を現実のものとして受け止めはじめる……という心の動きを確認して下さい。 は、適切な副詞の補充問題です。擬態語・擬音語の部分は何を使ってもよいというわけではなく、ある程度きまった使い方があるということに気づかせて下さい。

### 5 説明文の読みとり 41.2%

ねらい：書かれている内容を正確に理解し、主題をつかむ力を問う。

分析と対策：この文章では、江戸時代のふるがどのようなものだったのかについて説明されています。 は「勝るとも劣らない」の意味を知らない場合、前後の文脈から意味をつかむ必要があります。「博覧会を開くことになった」町と江戸を比べるとどちらがさがしかったのかを、 段落を参考に考えます。 は文章の構成を考える問題です。段落の構成について考えるときは、どの段落とどの段落とがつながっているかということから考えると、つかみやすくなります。

全体の平均点は56.7点です。大問別テーマのうしろの数字は、全体の大問別正答率です。個人成績表を見ながら、不得意テーマに対する今後の学習の方針を見つけましょう。